



図書館員が選ぶおすすめの本

～高学年向け（小5,6）～



「ラスコーの洞窟 ぼくらの秘密の宝もの」

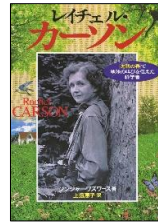
エミリー・アーノルド・マッカーリー // 絵と文 青山 南 // 訳
小峰書店



約17000年前に旧石器時代の人々が描いた壁画(ヘキガ)を1940年、なんと偶然4人の少年が発見！後に世界遺産にもなったフランス・ラスコーの洞窟(ドウカツ)壁画と彼らの出会いの物語。

「レイチェル・カーソン

[沈黙の春]で地球の叫びを伝えた科学者]
ジンジャー・ワズワース // 著 上遠恵子 // 訳 偕成社



環境問題をテーマとした「沈黙(チンモク)の春」という本を発表した「地球の恩人(オンジン)」、レイチェル・カーソン。子どものころから自然を愛し、助けをもとめる地球の声に耳を傾けた、彼女の生涯をつづった一冊です。

「ヒロシマ 消えたかぞく」

指田 和 // 著 鈴木六郎 // 写真 ポプラ社



1945年8月6日、ヒロシマに落とされた一発の原子爆弾が、鈴木さん一家を消し去りました。のこされたのは、愛情あふれる家族の日常を切り取った写真たち…。あの日、あの時まで確かに生きていた家族の記録です。

「富士山大ぼくはつ

かこさとし 大自然のふしぎえほん1」

かこさとし // 作 小峰書店



日本一高く、大きく美しい山、富士山。その姿は多くの人に親しまれています。そんな富士山がどのようにできたか、知っていますか？かこさとしさんの分かりやすい文章とたくさんの絵とともに探っていきましょう。

「心のおくりびと 東日本大震災 復元納棺師

～思い出が動きだす日～

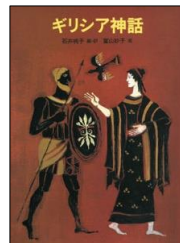
今西乃子 // 著 浜田一男 // 写真 金の星社



東日本大震災の被災地で、復元納棺師(フケンノウカンシ)として活動する一人の女性。傷ついた遺体を何時間もかけて生前の姿に近づける。そうして初めて家族は涙を流し、前へ進めるようになる。被災地の人々に寄りそう女性を追ったノンフィクションです。

「ギリシア神話」

石井桃子 // 編・訳 富山妙子 // 画 のら書店



「ヘラクレスの十二のぼうけん」「オデュッセウスのぼうけん」など何千年もの間、語りつがれてきたギリシア神話を、読みやすい文章で再話した一冊。豊かで力強いギリシア神話の世界にふれてみませんか？

「ヘンダワネのタネの物語」

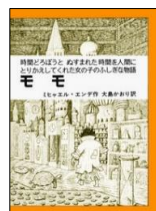
新藤悦子 // 作 丹地陽子 // 絵 ポプラ社



イラン人の男子「アリ」と、絵ばかり描いていてヘンな女子といわれる「直」をヘンダワネのタネのふしぎな力が結んだ物語。「ヘンダワネ」っていったい何？それは読んでのお楽しみ。

「モモ 時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にとりかえてくれた女の子のふしぎな物語」

ミヒヤエル・エンデ // 作 大島かおり // 訳 岩波書店



モモは、町の人たちに愛されている女の子。ある日、灰色の男たちが現れて、人々の「時間」をぬすみはじめました。モモはこの「時間どろぼう」から町の人を助けようと立ち上がりますが…。

※対象年齢は目安です。

